



CONTENTS

令和2年度 事業計画の概要	P2
令和2年度の特典保険料率に相当する掛金率及び負担金率について	P5
令和元年度 決算の概要	P6
INFORMATION	P10

令和2年度 事業計画の概要

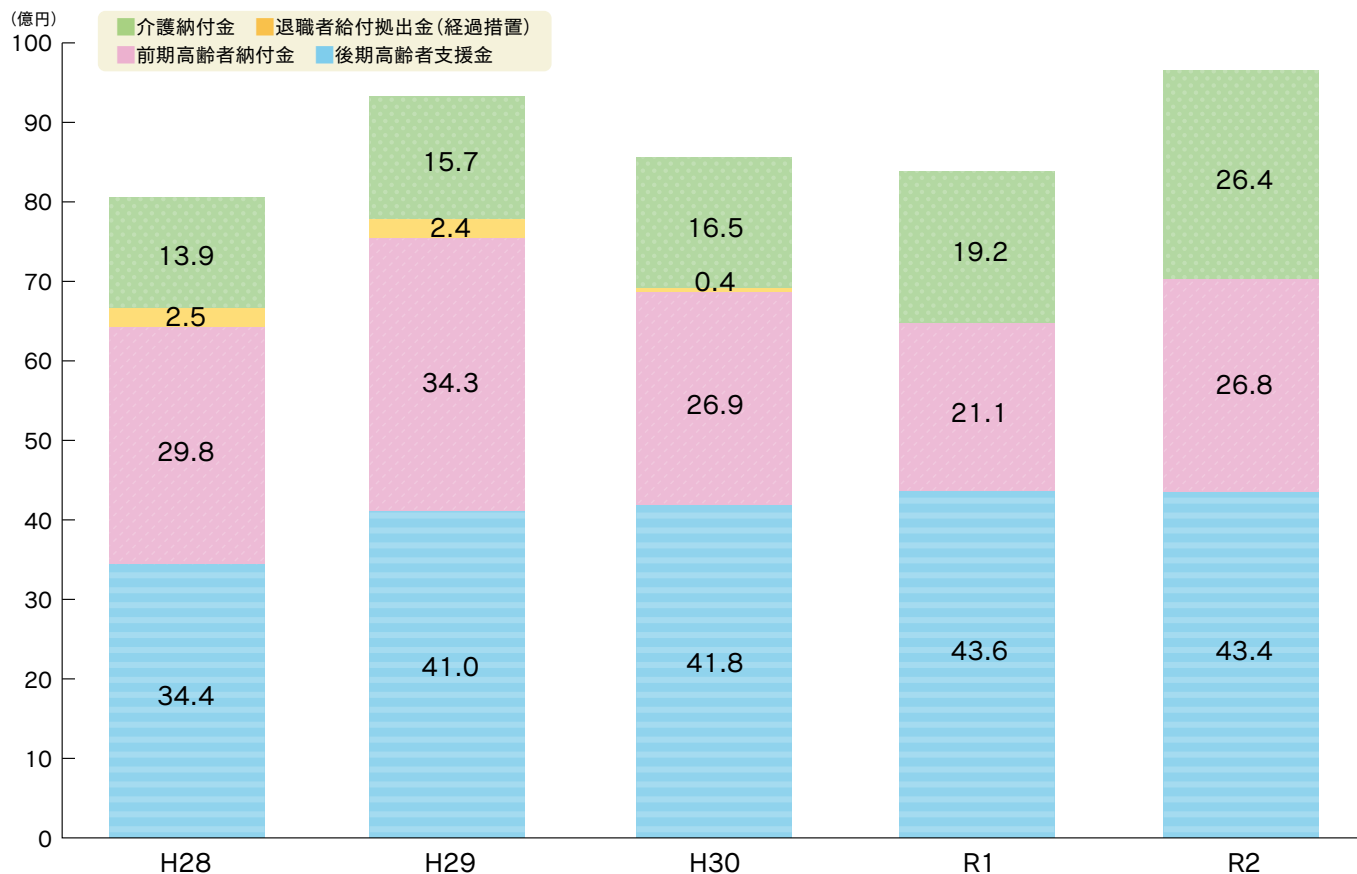
短期経理

短期経理は、保健給付・休業給付・災害給付・附加給付などの短期給付と、介護保険制度にかかる費用の納付を行っています。

今年度の短期掛金率は、37.55%（福祉分 1.01%を除く）で据え置きとなりました。短期経理の収支は、収入が支出を上回って黒字となる見込みですが、今後、高齢化のさらなる加速に伴って高齢者医療制度への拠出額はますます増加していくことが見込まれます。引き続き、これらの拠出額の動向を注視しながら、組合員にとって急激かつ過度の負担とならないよう適正な掛金率を設定していく必要があると考えています。

今年度の介護掛金率は、7.17%への引上げとなりました（昨年度の6.89%から0.28%の引上げ）。当共済組合が拠出すべき介護納付金の額は年々増加しています。これは、介護サービスの需要が増加していることに加え、平成29年度以降、納付額の算出方法が、加入者割（加入者数に基づく算出方法）から総報酬割（加入者の報酬総額に基づく算出方法）へと段階的に移行してきたことが要因であると考えられます。今年度は総報酬割への移行が完了したことに伴い、当共済組合が負担する額は26億円を超えました。来年度以降についても、引き続き高い水準で推移することが見込まれます。

当共済組合における高齢者医療制度への拠出額及び介護納付金の額の動向は、以下のグラフのとおりです。



予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	18,708	経常収益	19,249
当期利益金	541	当期損失金	0
合計	19,249	合計	19,249

予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	9,911	流動負債	225
固定資産	0	固定負債	1,300
-	-	剰余金	8,386
合計	9,911	合計	9,911

業務経理

業務経理は、短期経理の事務処理に要する費用の支出などを目的として設けられており、主として国の負担金により運営しています。

昨年度と同様に、医療費の適正化及び削減に向けた取組みに係る費用を計上しています。具体的にはジェネリック医薬品使用促進事業に関する費用を計上しています。

昨年度、標準共済システムの更改に伴う特別損失を計上していましたが、今年度はそのような支出がなく、利益金を見込んでいます。

📄 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	46	経常収益	73
当期利益金	27	当期損失金	0
合計	73	合計	73

📄 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	139	流動負債	0
固定資産	41	固定負債	0
—	—	剰余金	180
合計	180	合計	180

保健経理

保健経理では、組合員と被扶養者の健康の保持増進等を目的に、生活習慣病対策、人間ドック等費用補助、福利厚生パッケージサービス、特定健康診査等の保健事業を行っています。

保健経理のうち、支出の大部分を占める厚生費について、昨年度と同様に、以下に掲げる事業等について支出を行う計画を立てました。

中でも人間ドック等の補助の支出が年々増加しており、昨年度決算においては保健経理全体で損失金（赤字）を計上することとなりました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により人間ドック等の受検動向に不透明な部分もありますが、現時点では昨年度と同様損失金の計上を予定しています。長期的には今後も支出が増加することが見込まれますので、引き続き、保健経理全体の在り方について検討していくこととしています。

📄 厚生費の内訳

(単位：千円)

事業名	令和2年度予算	備考
健康増進事業	人間ドック補助	227,280
	脳ドック補助及びPET検査経費	7,500
	人間ドック等予約精算代行	15,317
	24時間無料電話健康相談事業	7,854
	小計	257,951
福利厚生パッケージサービス事業	40,741	
特定健康診査及び特定保健指導	30,513	
生活習慣病対策費	3,429	国が行う定期健康診断に対する補助
災害対策費	500	災害見舞金を支給した組合員が対象
合計	333,134	

📄 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	479	経常収益	426
当期利益金	0	当期損失金	53
合計	479	合計	479

📄 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	1,302	流動負債	36
固定資産	0	固定負債	0
—	—	剰余金	1,266
合計	1,302	合計	1,302

医療経理

医療経理は、福祉事業の一環として直営診療所を設置し、組合員等の診療にあたっています。

昨年度と同様に、本部診療所2か所、支部診療所5か所、合計7か所の診療所を運営します。患者数が減少する傾向が続いており、約2100万円の当期損失金を計上する見込みです。

① 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	87	経常収益	66
当期利益金	0	当期損失金	21
合計	87	合計	87

② 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	802	流動負債	6
固定資産	7	固定負債	35
—	—	剰余金	768
合計	809	合計	809

貯金経理

貯金経理は、団体保険事業のほか、共済組合ホームページの運用、組合員手帳の発行などを行っています。

昨年度と同様に、主に団体保険（グループ保険等）及び団体扱保険の事業を実施するための費用を計上しています。今年度の収入は、昨年度とほぼ同額の約1億6200万円を見込んでおり、経理全体で約6100万円の当期利益金を計上する見込みです。

団体保険事業については、スケールメリットを活かしてより経済的な保険料の設定など、有利な条件を確保するために加入者数の維持・増加が必要であることから、今後も保険制度の周知を継続し、加入者の拡大を図ることとしています。

① 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	101	経常収益	162
当期利益金	61	—	0
合計	162	合計	162

② 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	900	流動負債	34
固定資産	1,797	固定負債	8
—	—	剰余金	2,655
合計	2,697	合計	2,697

貸付経理

貸付経理は、組合員に住宅資金や教育資金などの貸付事業を行っています。

昨年度と同様に、組合員に対して、普通貸付、特別貸付、住宅貸付及び特別住宅貸付の4種類の貸付を行います。組合員に対する貸付金が減少しているため利息収入が減少する見込みです。

連合会からの長期借入金を一括弁済することにより、支払利息が大幅に減少する見込みです。この支出の減少により、昨年度より利益金が増加する見込みです。

昨年度と同様に、連合会から貸付資金の借り受けを行わず、自己財源により貸付資金を賄います。

① 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	34	経常収益	55
当期利益金	21	当期損失金	0
合計	55	合計	55

② 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	542	流動負債	1
固定資産	1,727	固定負債	0
—	—	剰余金	2,268
合計	2,269	合計	2,269

財形経理

財形経理は、財形貯蓄残高を有している組合員に住宅資金の貸付事業を行っています。

昨年度と同様に、勤労者財産形成促進法に基づいて財形持家融資に関する事業を行います。昨年度と大きな変動要素はない見込みです。

① 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	5	経常収益	5
—	—	当期損失金	0
合計	5	合計	5

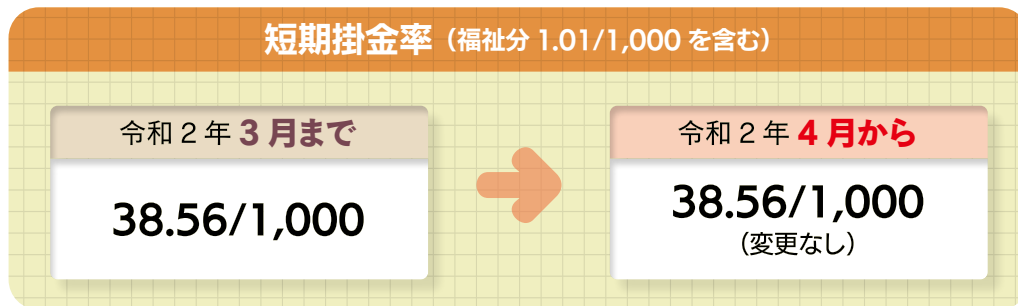
② 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	0	流動負債	0
固定資産	721	固定負債	721
—	—	剰余金	0
合計	721	合計	721

令和2年度の特典保険料率に相当する掛金率及び負担金率について

令和2年4月1日以降の短期掛金率は次のとおりです。



今年度における特典保険料率に相当する掛金率及び負担金率は次のとおりです。

特典保険料率とは、皆さまの当該年度における総報酬額に占める高齢者医療制度への拠出金の割合を示すもので、これは、組合員と事業主(国)とが折半負担することとなっています。

特典保険料率に相当する掛金率及び負担金率

令和2年度 34.50/1,000

うち組合員負担分(掛金率) 17.25/1,000 (昨年度の掛金率 15.89/1,000)

うち事業主(国)負担分(負担金率) 17.25/1,000 (昨年度の負担金率 15.89/1,000)

今年度における特典保険料率に相当する掛金率及び負担金率の合計は、34.50 / 1000 です。短期掛金率 38.56 / 1000 のうち、17.25 / 1000 (例えば、標準報酬の月額が41万円の組合員の場合、毎月7,072円) を高齢者医療制度のために拠出していることとなります。

令和元年度 決算の概要



令和元年度決算について、財務大臣の承認を得ましたので、その概要をお知らせします。

なお、決算書は各支部に備え置いていますので、閲覧を希望される方は所属支部の担当者までご連絡ください。

総合収支と資産の状況



総合収支の状況は、短期、貯金及び貸付の各経理が黒字となり、業務、保健、医療及び財形の各経理は赤字でした。全経理の総収入は約 194 億円、総支出は約 182 億円で、差引約 12 億円の当期利益金を計上しました（表1）。

資産の状況は、総資産が約 187 億 8000 万円、総負債が約 34 億 1000 万円で、差引約 153 億 7000 万円が純資産となりました（表2）。

表1 令和元年度総合収支状況

(単位：千円)

経理名	収入	支出	損益
短期経理	18,630,078	17,452,482	1,177,596
業務経理	46,194	47,751	▲ 1,557
保健経理	420,950	463,435	▲ 42,485
医療経理	70,532	84,135	▲ 13,603
貯金経理	160,737	96,469	64,268
貸付経理	67,318	51,301	16,017
財形経理	4,027	4,032	▲ 5
合計	19,399,836	18,199,605	1,200,231

表2 令和元年度資産状況

(単位：千円)

経理名	収入	支出	損益
短期経理	9,833,398	1,536,283	8,297,115
業務経理	161,436	40,194	121,242
保健経理	1,356,166	36,880	1,319,286
医療経理	827,666	37,454	790,212
貯金経理	2,647,566	52,287	2,595,279
貸付経理	3,370,121	1,122,868	2,247,253
財形経理	580,818	580,580	238
合計	18,777,171	3,406,546	15,370,625

短期経理



収入は約 186 億 3000 万円で、前年度実績から約 1 億 2000 万円増加しました。これは、人事院勧告により期末手当等に係る支給月数が 4.45 月分から 4.50 月分が増額されたことなどによるものです（表1、表3）。

支出は約 174 億 5000 万円で、前年度実績から大きな増減はありませんでした。これは、保健給付、介護納付金の支出が増加した一方、高齢者医療制度拠出金のうち前期高齢者納付金が大幅に減少したことによるものです（表3、表5）。

収支は前年度に引き続き黒字となり、利益金として約 11 億 8000 万円を計上し、積立金は約 75 億 4000 万円となりました（表3、表4）。

しかし、今後は高齢化社会のさらなる進展等により高齢者医療制度への拠出金が増加し、いわゆる団塊の世代が後期高齢者になる令和7年頃にはその増加に拍車がかかることが見込まれています。そのため、長期的には厳しい収支状況が予想されます。

表3 短期経理損益計算書

(単位：千円)

科 目		平成 30 年度決算 A	令和元年度決算 B	B - A
収 入	経常収益	18,501,695	18,619,757	118,062
	短期負担金・掛金収入	15,185,959	15,241,625	55,666
	介護負担金・掛金収入	2,062,081	2,081,269	19,188
	雑収入	46	5	▲ 41
	補助金等収入	0	0	0
	引当金等戻入	1,241,711	1,267,845	26,134
	事業外収益	11,898	29,013	17,115
	特別利益	8,600	10,321	1,721
	当期損失金	0	0	0
	当期短期損失金	0	0	0
当期介護損失金	0	0	0	
合 計		18,510,295	18,630,078	119,783
支 出	経常費用	17,449,790	17,451,869	2,079
	保健給付・直営保健給付	6,284,253	6,425,937	141,684
	休業給付・附加給付	1,231,301	1,242,691	11,390
	災害給付	2,475	0	▲ 2,475
	高齢者医療制度拠出金	6,909,548	6,462,957	▲ 446,591
	介護納付金	1,652,658	1,917,649	264,991
	一部負担金払戻金 外	89,570	98,413	8,843
	繰入金	12,141	9,723	▲ 2,418
	引当金等繰入 外	1,267,844	1,294,499	26,655
	特別損失	1,135	613	▲ 522
	当期利益金	1,059,370	1,177,596	118,226
	当期短期利益金	649,980	1,013,961	363,981
	当期介護利益金	409,390	163,635	▲ 245,755
合 計		18,510,295	18,630,078	119,783

表4 短期経理の収支の推移

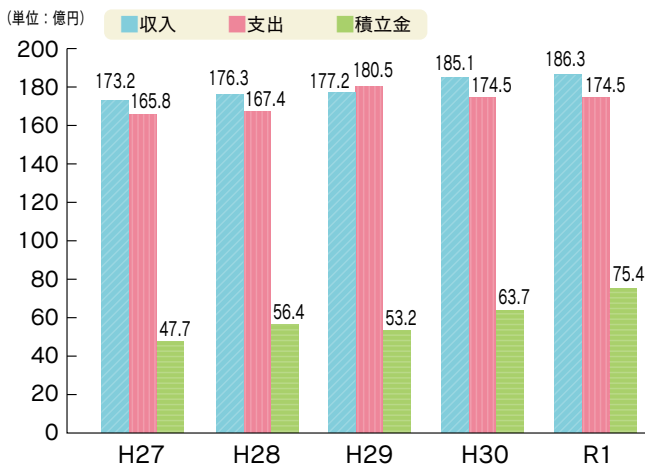
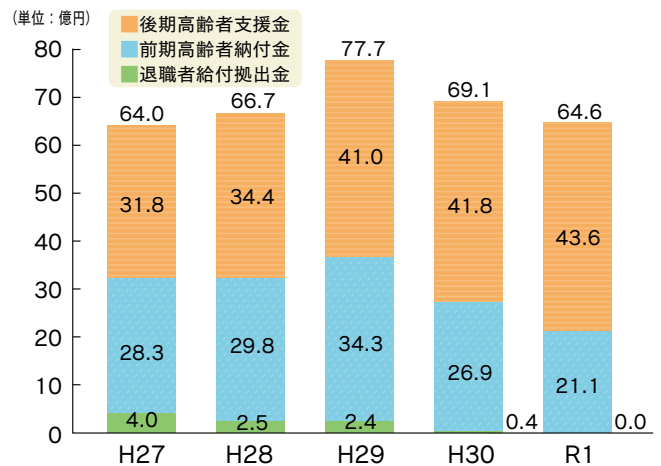


表5 高齢者医療に係る拠出金の推移



業務経理



収入は約4600万円で、昨年度実績から約1200万円減少しました。これは、システム関係費用の減少(主にマイナンバーを利用した情報連携で必要となる中間サーバの開発・改修費用の減少)に伴い、国からの負担金収入が減額されたためです。

支出は約4800万円で、システム関係費用が減少した一方、標準共済システムの更改に伴う特別損失を計上したことにより、結果として昨年度実績から約120万円増加しました。

収支は約160万円の当期損失金を計上しました(表1)。

保健経理



収入は約4億2100万円で、昨年度実績から約6万円増加しました。

支出は約4億6000万円で、昨年度実績から約1900万円増加しました（表6）。

収支は、約4200万円の当期損失金を計上しました。

支出のうち、厚生費の支出は約3億1500万円ですが、このうち、人間ドック、脳ドック等費用補助及び人間ドック等予約精算代行の合計額は約2億3800万円となり、昨年度実績から約1300万円増加しています。これは、利用者の増加（前年度比385人増）が主な要因です（表7）。

福利厚生パッケージサービスの今年度利用件数（会員証の提示などで受けられるサービスを除いたもの）は約7万9000件であり、昨年度からは約2万件減少しました（表8）。これは、業者変更による影響が大きいと考えられます。

特定健康診査の受診率は、今年度目標値78%に対して74.6%、特定保健指導の受診率は今年度目標値25%に対して7.8%（令和2年7月31日時点の暫定値）といずれも目標値を下回っています。

表6 保健経理損益計算書

(単位：千円)

科 目	平成30年度決算 A	令和元年度決算 B	B - A
収 入			
経常収益	420,887	420,946	59
負担金収入	201,249	201,919	670
掛金収入	206,929	207,777	848
雑収入	188	264	76
国庫補助金収入	4,475	4,655	180
交付金収入	3,174	2,604	▲570
有価証券利息 外	4,872	3,727	▲1,145
特別利益	0	4	4
当期損失金	23,039	42,485	19,446
合 計	443,926	463,435	19,509
支 出			
経常費用	441,314	460,458	19,144
厚生費	301,251	315,421	14,170
旅費、事務費	2,894	2,311	▲583
委託費 外	1,743	6,873	5,130
連合会へ繰入	135,426	135,853	427
特別損失	2,612	2,977	365
当期利益金	0	0	0
合 計	443,926	463,435	19,509

表7 厚生費支出内訳表

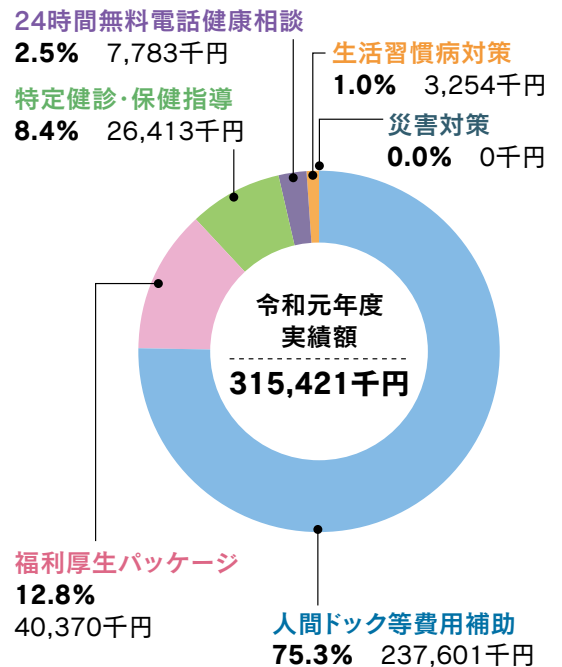
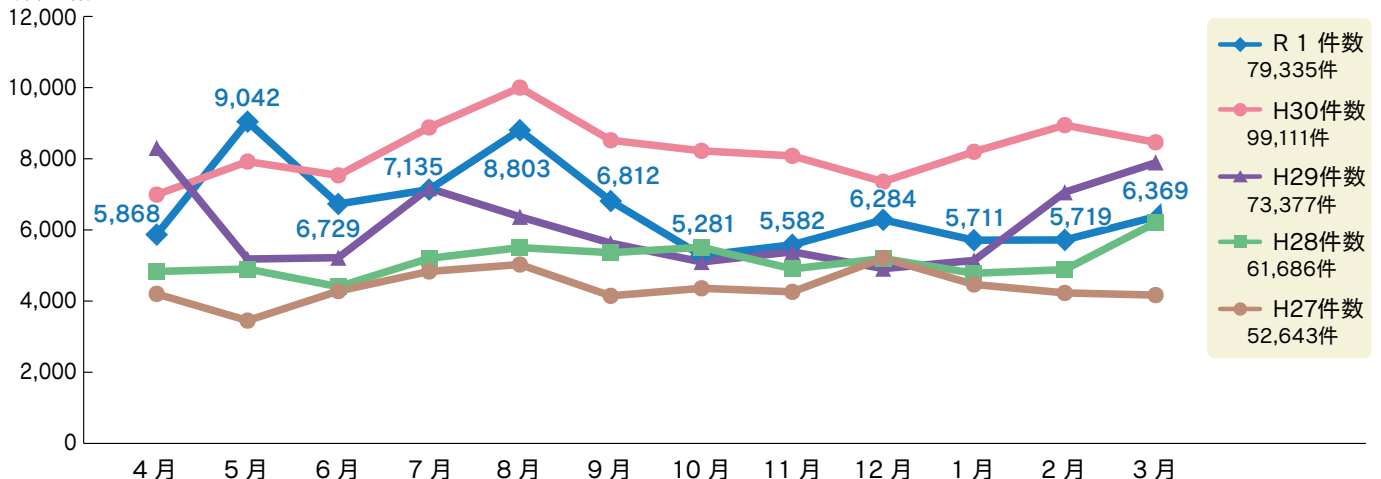


表8 福利厚生パッケージサービス利用件数

(単位：件)



(※会員証提示サービスを除く)

医療経理



今年度年間利用者数は8367人で、昨年度実績から977人減少したことにより、収入は昨年度実績から約700万円減少し、約7050万円にとどまりました。

支出は約8400万円で、昨年度実績から約670万円増加しました。

収支は、約1360万円の当期損失金を計上しました（表1）。

貯金経理



収入は約1億6100万円で、昨年度実績から約260万円減少しました。

団体保険は、新グループ保険、総合医療保険、3大疾病保障保険、ライフプラン及び団体傷害保険について、組合員のニーズに合わせた商品を提供しています。今年度の募集では、3大疾病保障保険とライフプランが増加し、その他は減少という状況でした。

支出は約9600万円で、昨年度実績から約130万円増加しましたが、全体としての収支は、約6400万円の当期利益金を計上しました（表1）。

貸付経理・財形経理

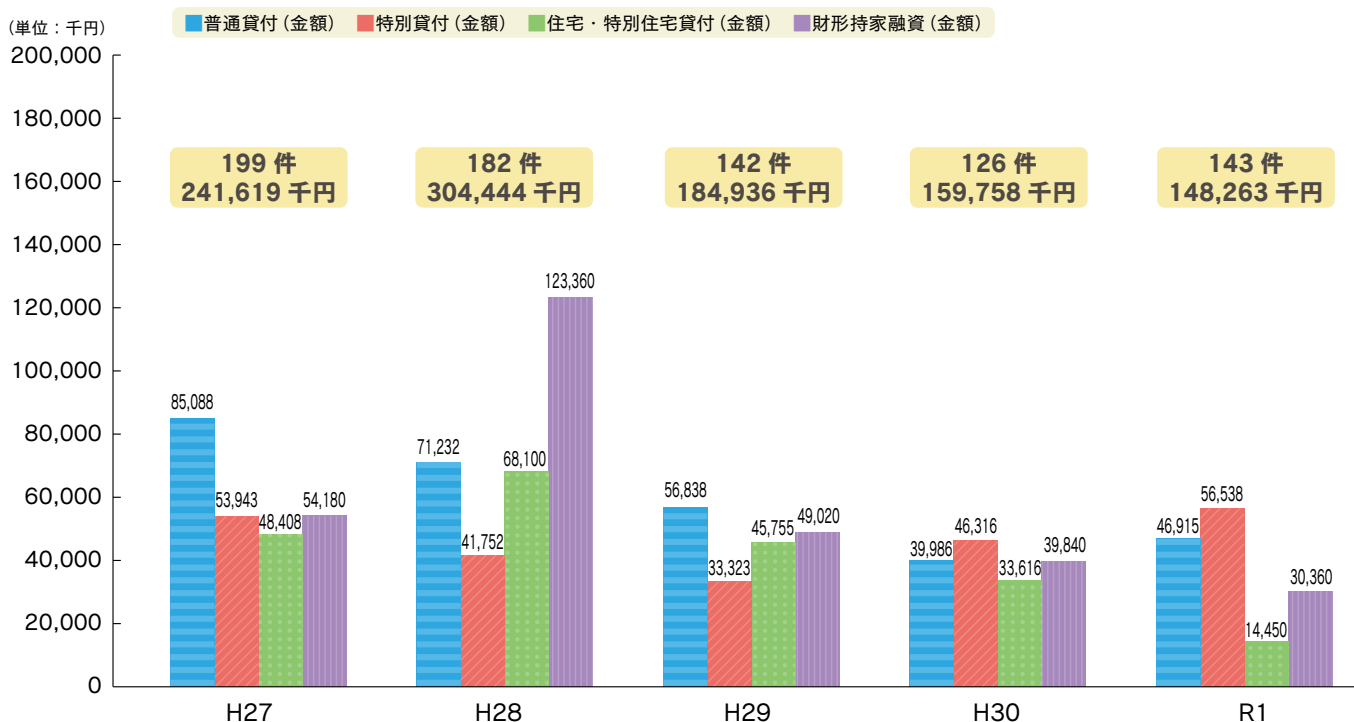


貸付経理については、収入は約6700万円で、昨年度実績から約2700万円減少しました。支出は約5100万円で、昨年度実績から約1300万円減少しました。収支は、約1600万円の当期利益金を計上しました。

財形経理については、収入は約400万円で、昨年度実績から約95万円減少しました。支出は約400万円で、昨年度実績から約95万円減少しました。収支は、5000円の当期損失金を計上しました。

今年度新規の貸付件数及び貸付金額は143件、約1億5000万円で、昨年度の新規貸付と比較すると、件数は17件増加し、金額は約1150万円減少しました。全体的に貸付は減少傾向にありますが、子どもの学費等の教育貸付を含む特別貸付については増加傾向にあります（表9）。

表9 貸付・財形持家融資



INFORMATION

福利厚生パッケージサービス 「ベネフィット・ステーション」 を利用していますか？



令和元年度から引き続き、令和2年度も福利厚生パッケージサービスを株式会社ベネフィット・ワンに委託しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛などにより、なかなかこれまでのようには利用しづらいな…と思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし、ベネフィット・ワンが提供する福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」では、自宅で利用できるメニューも多数提供しています。おうちで過ごす時間が増えている今だからこそ、ぜひ福利厚生パッケージサービスを活用してみてください。



会報誌「BENEFIT STATION」はチェックしましたか？



7月下旬に、組合員の皆さまに会報誌「BENEFIT STATION 2020Summer」をお配りしています。

今月号では「with コロナ」と言われる今を少しでも楽しんでいただけるよう、7つの特別企画をご用意しています。また、今年度、多くの組合員の皆さまにご利用いただいているe-ラーニングなどの自己啓発分野についても、お得なメニューをご紹介します。

さらに、おすすめの新メニューをピックアップしてご紹介したり、「おうち時間」を楽しく、充実させるさまざまなサービスをカテゴリごとに掲載しています。

主な コンテンツ

- with コロナの今だから楽しみたい7つのこと
- オススメ PICK UP
- 今年の夏は涼しい家で熱く盛り上がろう！
- 今がチャンス！早めがお得！ベネ通販夏の大大特集！

会報誌の発行は約3カ月に1回ですが、裁判所共済組合ホームページでは季節に合ったおすすめメニュー、期間限定のサービスなどの最新情報を随時更新しています。こまめにチェックしてお得な情報をゲットしてください！

裁判所共済組合ホームページ <http://kyousai-01.courts.go.jp/>



ベネフィット・ステーション会員専用サイトが便利！

令和2年5月にスマホサイト・アプリがリニューアルされ、周辺エリアのおすすめ情報、期間限定のサービスが表示されるなど、より利用しやすくなりました！

お手元に会員証がない場合でも、スマホ画面にウェブ会員証を表示することでいつでもサービスを受けることができます。

ベネフィット・ステーション会員専用サイト

<https://www.benefit-one.co.jp>





会員 ID、パスワードがわからない場合は？

ベネフィット・ステーション会員専用サイトにアクセスしサービスを利用しようとしても、ログインするための会員IDやパスワードが分からない！と困ったことはありませんか？ そんな時は、以下の3種類の方法でお手続きが可能です。

1 WEB申請 (ID、パスワード)

- ① ベネフィット・ステーション会員専用サイトにアクセス
- ② **PCの場合** 「ID /パスワードが不明な方はこちら」をクリック
- スマホの場合** 右上のログインをクリック → 「ID・パスワードが不明な方はこちら」をクリック



2 電話受付 (ID、パスワード)

- 営業時間** 午前 10 時～午後 6 時 (年末年始を除く)
- 送信方法** メールまたは SMS
- 対象** 会員 ID、パスワードの両方が不明な方

カスタマーセンター
0800-9192-919
(通話無料)

※海外からお掛けの場合:
81+3-6870-2815(通話無料)

1
電話をかけて
オペレーターへ
不明な項目を伝える

2
URLの送信先と
認証キーを
伝える

3
受信したURLに
アクセス
※Step2の認証
キーを使用

4
好きな
パスワード
を再設定

3 自動音声電話受付 (パスワードのみ)

- 営業時間** 24 時間 (携帯電話番号を登録済みの場合)
- 送信方法** SMS
- 対象** パスワードが不明な方

※マイページのマイプロフィールに携帯電話をご登録している方、また、過去にカスタマーセンターにお電話をいただいた際に携帯電話登録にご了承いただいている方は、音声自動応答サービスを 24 時間いつでもご利用いただけます。

カスタマーセンター
0800-9192-919
(通話無料)

※海外からお掛けの場合:
81+3-6870-2815(通話無料)

1
電話をかけて
会員IDを入力

2
認証キーを入力
※連番(1234)、
同数字(1111)は
認証キーに設定
出来ません。

3
受信したSNSに
アクセス
※Step2の認証
キーを使用

4
好きな
パスワード
を再設定